



日本共産党
北茨城市委員会
磯原町豊田1030-2

毎週 日曜日 発行
市議団ニュース

ご相談は
お気軽に

市議会議員
福田 明
43-0468

市議会議員
鈴木やす子
42-2462

会期から 最終日 3月19日

3月19日、市議会最終日の本会議で、請願採択、条例改定および市予算案について、日本共産党の福田明議員がおこなった討論の概要を紹介いたします。

農業まもる請願の採択を求める

戸別所得補償の導入にあたって

議会報告第1号「米の下落に歯止めをかけ、再生産できる米価の実現を求める請願」について、産業建設委員会の報告は不採択ですが、私は採択すべきであると考えます。

新年度から「戸別所得補償」が実施されます。まずモデル事業として稲作農家を対象とし、減反達成を条件に10アールあたり1万5千円（固定部分）を補償するものです。



語り継ぐ

北茨城・九条の会「2周年のつどい」で、戦争体験と軍隊生活について語る中郷町の平山勝明さん。(3/14、市防災センター)

算出の根拠となる米の生産費は一俵1万3703円とされています。しかし農水省が発表した08年度米の生産費は1万6497円で、それと比べてもあまりにも低額です。請願にもあるように、せめて単価を農水省が発表

した生産費をつぐなえる水準とすべきです。また、需要のないミニマムアクセス米などの輸入を削減することも求めます。日本農業の再生には、農産物の価格保障と所得補償を組み合わせ、コストをカバーすると同時に、歯止めのない農産物の輸入自由化をやめることが必要だと確信します。そうした立場からも請願の採択を求めるものです。

国民のふとこを温める政策を

人事院に就くだけの条例改定には反対

議案第3号「市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例」は、昨年の人事院勧告にともなう附則に盛り込まれた6月の期末手当の減額を本則とした内容です。昨年12月の条例改定のさいにも党市議団は反対しました。その理由は、今日の深刻な経済不況との関連からであります。この10年、日本は国内総生産（GDP）がほとんど伸びない「成長が止まった国」といわれています。勤労者所得が下がっています。勤労者所得が下がっているのも先進国では日本だけではありません。ところが同時期、大企業

業の内部留保金は142兆円から229兆円へと急増しました。正社員を減らして派遣などの非正規社員に置き換え、またリストロと賃下げをおこなってきた結果です。日本経済を再生するために

みなさん お誘いあわせて

- 北茨城市美術協会展 (下の写真)
市民ふれあいセンター 入場無料
3月18日～22日 最終日は15:00まで



- 絵で伝えよう！私の町のたからもの
県絵画巡回展 [ユネスコ協会主催]
市民ふれあいセンター 3月27日(土)
- なくそう貧困！いのちと暮らしを守る
春の県民大集会 水戸駅南平和公園
4月3日(土) 13:30～15:00
- 茨城革新懇談シンポジウム「日米安保条約はプラスかマイナスか」
4月10日(土) 水戸市民会館大会議室 13:30～

予算案は高く評価できる側面も

ただし、賛成できない
条例改定が含まれる

議案第22号「一般会計予算」について、昨年の議会では「市長が再登板して3年目の予算は市民も注目するし、期待できるとか」と質問しました。市長は「福祉や教育は削れないし、内容的には期待していただきたい」

と答弁しました。そうしたなか今回提案された予算は、きびしい財政状況のもと、前年度との対比で見ると全項目にわたって千円単位で見直しをおこなうながら捻出した努力がうかがえます。たしかに市長答弁の



子守唄を通じて子育てを応援！

3月12日、ふれあいセンターで「家族・地域のきずな」フォーラムが開かれ、数十組の親子が参加しました。県では、子守唄を活用した親子のきずなの再生運動を推進しており、その一環です。